

- ・新規気象ビジネス創出WGに関連する、今年度の活動実績を抜粋。

2024年	5月	・第28回WG会合
	7月	・第29回WG会合
	10月	・「事例インタビュー」第6回を掲載 (エスエナジー、Weather Data Science)
	11月	・第30回WG会合 ・気象データのビジネス活用セミナー ～地上から上空まで、データ活用の最前線と可能性～
2025年	3月	・第31回WG会合

●WG定期会合実施状況

第28回会合（5月）

「医薬品の製造・販売への気象データ活用」

株式会社池田模範堂と一般財団法人日本気象協会の協業事例について、それぞれの視点で話題提供。

第29回会合（7月）

「気象を測る～機器開発と活用～」

古野電気株式会社とオムロン株式会社から、民間企業向けの気象観測機器について話題提供。

第30回会合（11月）

「WG会員から寄せられた課題をもとに意見交換」

自社の課題についてのアンケート結果を文面でご紹介。
アンケート回答者のうち、株式会社ハレックスからご発表をいただき、参加者で意見交換。
株式会社エスエナジーとWeather Data Science合同会社の協業事例について話題提供。

ハイブリッド形式での開催。希望者対象に、庁内見学ツアー・懇親会を実施。
気象業務振興議員連盟会長・古屋圭司衆議院議員も一部ご参加。

第31回会合（3月）

「気象×宇宙で拓く新ビジネス」

株式会社AOZORA、株式会社IHIから、気象衛星に関係したビジネスについて話題提供

（第30回会合：新規入会者自己紹介の様子）



●事例インタビュー実施状況

第6回掲載（10/25）

- ・タイトル：～新電力における気象データ活用～ 「タダ電」のユニークな料金体系を支えるデータ活用
- ・インタビュー回答者：株式会社エスエナジー、Weather Data Science合同会社



●お悩み相談アンケート実施

自社の課題についてのアンケート結果を文面でご紹介。

アンケート回答者のうち、株式会社ハレックスからご発表をいただき、参加者で意見交換。

課題を紹介いただいた一部企業について、WXBC事務局経由で連絡先の交換等があった。